ナマズ漁の釣具

だ…」家人の険しい顔。「縦

「どうやって持ち帰るん

にして光源を中に置いた

美しいハズ」 という心の

に従って持ち帰った。

い放射状の灯がトロリと

弥生

で使われる釣具、全長 た。メコン川のナマズ漁 小さな街の市場で見つけ

計報

| | | | センチ。

美の旅

ナフェンス」の上に置い

(きたむら やよい

だった。もっとも季節による

かかわらず、大変美味なもの

城址巡りの喜び

音頭」のテープをかけてくだ 分が作詞・作曲をした「淀城

きには興味深いところである。

城址を訪ねた時にも出会った。

親切な人といえば、飯田の

いる土地でもあり、歌舞伎好 中、早野勘平がうろうろして たところ、女主人の佃さんが て城跡巡りをしていると話し てお土産を買った時、問われ

名手本忠臣蔵」五段目で、雨の

色々土地の話の他、なんと自

# 好太學文藝學部

近藤瑞男 巡りを楽しんでいる。そ 、出かけただろうか。 これには考えてみると

を歩きながら、ここが侍 家だから、何もない城址 手さんも一緒だったよう 田先生の友人藤本正行さ あったという。日文の内 様がお月見をした所で その昔八王子城主のお姫 ちなみに八王子校舎は、 計画したことがあった。 うと、八王子城址巡りを 何か楽しみを見つけ出そ に思う。藤本さんは専門 んが説明係で、何人か助 校舎が八王子にあった頃、 前史があり、まだ大学の 水鉢が残され、 案内してくだ てくださり、そ がしてあるのだ 巡って登ると城 さった。石垣を 話好きな人がいらっしゃる。 れるほどだ。そのかわり城址 は何もありませんよ。」といわ まわりには囲い の上、城址まで ていると、早速 だった。京阪電車の淀駅をお が、その中に身 男性が声をかけ りてうろうろし 淀城の跡を訪ねた時もそう

軽に入って井戸

那古野城址の石碑(『名城をゆく3 飯田は近所にお住まいの平栗 ご夫妻の実家で、リンゴの花

御存じなく、歴史を知ってびっ があることを知ったのである。 くりなさっていた程である。 でをしていた神社が城址とは 社。ご夫妻も、昔から毎年初詣 つは飯田の市内、愛宕神

を成し遂げたほか、二〇〇三 国際学部)の開設、大学の神 が本年九月十八日、八十九 たって本学の学園長・理事長 歳で逝去された。石橋氏は 九九〇年より二十五年にわ 石橋義夫前学園長・理事長 道なので、そうなさったらし られたのである。ちょっとびっ すこし距離のある場所で、車 しゃった方に声をかけると、 た時だった。道を歩いていらっ て、もう戻ろうかと思い始め 見つけることができず困り果 で目指したのだが、なかなか 址であった。ここは市内から その後廻ったのが、神之峰城 急いでいた理由を思い返して

共立女子大学 文芸学部発行 編集責任者 池上公平 ツ橋二 - 二 - ]

文芸学部報 第一二三号

学部報に関する ご意見・ご感想を お寄せ下さい。



gakubuho@

さったのである。今、いただい

|に曲がっているのは、戦さの|に石を投げ入れ、深さがどの

時に重要な意味があるという

くらいなのかを説明、そのほ

かこの城にまつわる史実をさ

|がら思い出す。八王子というと|まざま教えてくださった。こ

せて下さる場所を探していま た名刺を出して見ると、「明る たりと、城址巡りのスケジュー か列車の来ない駅で降りると、 い、現に駅を降りてみると確 ならず、高所恐怖症でヘタレ ましいことだった。この城址 告なさっていたのは、 時間が余ったり、大急ぎだっ かに城址だったこともある。 と、城址ではあるまいかと疑 下で待機したのだが、見晴ら の自分はさっそく一抜けをし、 は切り立った細道を行かねば ルは大変である。 いわれ、どこにでもある。最 三万ヵ所ほど残されていると しのよい細道だったそうだ。 こうした城址は、 全国に 籍・古典籍、新刊のベストセ

論文、江戸期の写本・版本ま

小説から、明治期の学術

探せば必ず必要な本を見

を肉声で聞かれることをお勧

めしたい。ちなみに淀は、「仮

の運転手にいつも、「あそこに

けの廃墟が楽しい。タクシー

だけではない、城址からの帰 気づかなかっただろう。それ 戸のことも、その他の遺構も、 の方に出会わなかったら、井

もし淀に行かれることがあっ

この曲に愛着を持たれている

きちんと復元されたお城に

染みの町である。にもかかわ けてお招きいただいて、お馴 スティバルの時と、何かにつ で催される雛祭りに出かけた 一さんはどう思っただろう。平 なっていて、タクシーには刑 らで広い敷地があって、堀ま とになってしまった。城巡り 務所の周りを走ってもらうこ 校に利用されていることも多 い。仙台ではなんと刑務所に ちなみに城址は、神社や学 一うにも思われる。

ほとんど知られず、ひっそり の城と伝えられている興味深 築城といわれ、織田信長誕生 城に入らないという経験をし に、大きな石碑が建てられてい 城二の丸あたり、今川氏親の である。那古野城は、名古屋 た。目指したのは那古野城址 いところ。今は一本の松の下 かに城址は刑務所向きである。 で廻らせてあるのだから、確 古屋城に行きながら、名古屋 先日行った名古屋では、名 |帯が鳴って、同行者はもう城 向かっているという。そこは とも進まない。気に入った染付 がいなかったり、あまり商売っ の皿を見つけても、店には人 だと記したが、岩村城址では、 気のない町だった。それでも んどん先に行き、私自身は店を 同行の者は城址にむかってど 岩村の町が本当に楽しかった。 一軒一軒覗いて行くので、ちっ

こに行けば、和書・洋書・漢 任の校風のもと、 大

設置されている分館を申し訳 ある時代がかった建物の大き こなせるようになるには、ず が、その図書館を自由に使い 程度に利用するのがせいぜい いぶん時間がかかった。入学 へ必要に迫られて、学部内に だからこそでもあるのだ

きあがっていたからだったよ を食べたいという気持ちがわ | 蛇に二度も遭遇し、 買い物も城址巡りの楽しみ 同行者がすさまじい悲鳴をあ 蛇嫌いの

> あった。 址を堪能

一壮大な歴史の中に足を踏み入 | 信長が心血を注いだ安土城址 体験すると、信長の野望に圧 住居跡や武将の墓の並ぶ敷地 もない地だが、木下藤吉郎の タクシーというやや不便で何 である。近江八幡あたりから 舞台などでその豪華さを何度 ケールの大きさを示している。 石が規則正しく並び、城のス れているという思いが湧き上 の中を登ってゆくと、まさに などを見ながら、緑の濃い木々 げるので、こちらがびっくり さて城址の中でも最高は、 の城址巡 れて、ます

学 随 想 にさしかかった頃であったと な図書館をようやく利用し始

いく開放隊

本来、

大学院生ともなれ

ちの声。それらと、時空を超

小説家、詩人、芸術家た

えて両手の中で対峙できる喜

ひを、ひとつひとつの本が教

気ままな手

た。誰にはばかることなく、

れこれを、過去累々と記述し

る。これが

か何より心地よかっ 放っておいてもらえ み、祈りや畏れ、時間や生命

に対する不可思議な感覚のあ

の遊び場が、五〇〇万冊以上 をすればほったらかしで育て とりが丁寧に構ってもらえる の蔵書を誇る大学図書館。そ られた。そんな私たちの最大 えばのびのびと、ひねた見方 ような環境でもなく、よく言 に言うマスプロ大学。自由放 学部・大学院と実に十四年 必要な本を注文する。無愛想 架式書庫に収蔵されていたの 記憶している。多くの本が閉 ちょっと前の自分たちの姿と たくできていない学部生を、 今にして思えば、 な出納係が怖かったこと! 誌を調べ、分類番号を控えて で、図書カードをめくって書 にいた彼らの多くが大学院 文献調査の基礎がまっ

出納窓口

たのだが、

この頃の私はその

機会を完全に逸していた。こ

論点や方法

ば、各々の専門領域に固有の

ばならない

大事な時期であっ

えてくれた。

と、かつて

の出納係の視線を

れではダン

くなのだろうな・・・

館に他ならず、母校に立ち寄

いやすいホームは共立の図書

現在の私にとって、最も使

思い出し

う、一抹の不安を

まった。それにもかかわらず、 ることは年に数回となってし

ら懐かしい人に出会うことに

栉に行くとかならず、 誰かし

なる。留学をしたまま彼の地

るようになった。蔵書目録も と移転し、ほぼ全ての蔵書を と前後して――時代がかった 開架式で利用することができ らと嘆いていたのだろう。 重ねつつ、しょうがないやつ 図書館は近代的な新図書館へ そうこうしているうちに 自分が大学院に進学するの

を繰り返

していた。あの頃、

移りしながら、無軌道な読書 複雑で多様な知の集積物に目

先輩など、十年以上会ってい

地方の美術館に勤務している で研究を続けている同級生、

それでも目の前の

それ以後である。広大な書籍 飛躍的に容易となり、私が本 格的にそこで遊び始めるのは ば、とい いく中で経験する喜びや悲し ものでもある。人間が生きて て得た人立 専門分野の もう少しまじめに、体系的に 又知に対する大いな いく上で不可欠な それは現在私が研 時期の読書を通じ 後悔がないではな 文献を読んでおけ

> 共有されていることの喜びを 遊び場が、今もって私たちに

当たり前の風景として、ただ

一言三言交わしてわかれる。

く、私がそこにいることも)

いることも(また彼らにとっ なくても、その場所に彼らが

させられる空間で一ている。この後、時間がもっと THE SEAL STATES SEALES SEALES SEALES

日本美術史)

(やまもと さとみ

旅行が好きで、暇があると ささか心配である。 自由になるとどうなるか、

りという目的が生ま | 日本近世演劇) ていたのだが、こ (こんどう たまお



安土城址(『安土城・1999』安土城考古博物館刊より)

旅行の紀行文をお願い 動揺していると「鉄道 では、なぜ?

します」とのことだっ

のか? そんな話、聞 のを編集委員が聞いた

いてもわからんだろう。

などと

車内アナウンス

学部長と私が電車のイ

ついて語り合っている

ータの方式や音に

とも、ある会合で池上 んなわけはない。それ いるのか?

いや、

行されたことを知って でしまい、駅長室に連

A禁止区域に入り込ん

た。なんだ、主眼は「紀

にあるのか。では、

# 2015年(平成27年)11月1日(日)

# の旅

藤田

いところであったが、残念な

ルトでカッコよく肩にかけた ホントは純正のナイロン製べ その肩にラジカセを提げて。

ようなものをくすねてきてラ がら母親が和装に使う腰紐の 車に友人と一緒に乗り込んだ。

元春

から依頼された時は大変驚い この原稿を本紙の編集委員 | ここはまあ、鉄道ファンなら ではの旅を思い出してみよう 鉄道には乗りたいがお小遣 けただけだった。ソニー製の ジカセの吊り金具にしばりつ 徐々に明けゆく空はまるで

電車にて

選択乗車特例」はありがたい て、国鉄の「東京近郊区間の いが少なかった少年達にとっ

影に夢中になって立

R)のエル特急のヘッドマーク 生の頃に上野駅で国鉄(現了

あった。少年はこの長い旅の 緞帳が上がっていくようで

(出典 Wikipedia また観客でもあっ どこまでも続く ような車窓風景 る。少年はその 田園に目を瞠 の郊外を通れば げ、埼玉や千葉 る高層ビル群を 心を通れば天空 た。そして、都 つもラジカセで に心を躍らせつ 幸い、昔を懐かしむ人々のた バスに姿を変えてしまったが、 路面電車はほとんど地下鉄と た。近年は地下鉄ができて、 が楽しみで、発車と停車の際 子供時代は路面電車に乗るの 電車(路面電車)」と「無軌電 ン」という鐘の音が心地よかっ に車掌さんが鳴らす「チンチ 私の故郷の長春では、昔は

ナウンスと共 車」といい、その名前はおそ らく石炭を燃料として走った

車が動き出し、車窓の外に目

く席は空いていなかった。 車には間に合ったが、あいに

後、敵は「わかりました」と言っ ばわかる、世の中は規則で動 た。(ホントかよ?) ある、ということを少年は悟っ いている、日本は法治国家で て切符にハンコを押した。話せ

んな学校聞いたことない!ど

て文芸ネットワークや文化祭 に顔を出すようになると、学

つくばでの生活が落ちつい

れられませんよ。

どのような経路で目

れる。いやぁ池上学部長、やっ に電車のモーター音も録音さ

ものだった。これは、

は「奇行」だな。 川町駅にて無事終了した。 顔とニラメッコだった。こう ラスに映る少々疲れた自分の 景を楽しむことはできず、窓ガ 残念ながら日が暮れると風 最近は旅と言えばいつも自

教授・図書館情報学) この奇行のようにセカセカせ 家用車だ。時にはのんびりと ずに。(ふじた たけひさ 准 鉄道の旅にでも出てみようか。

寧に説明する。少々の沈黙の

ここに記した時刻通り本日中

に目的地に到着します」と丁

山手駅を出発し、こうしてあ 旅程図を見せながら「根岸線 落ち着け、想定内の反応だ。 いうことですか?」と問うた。 敵は「お客さん、これはどう

りから覚めやらぬ午 ない。人々がまだ眠 その日のうちに隣駅

下車できる。 ただし

読んだりして、長旅を楽しん のことなどを大体知ることが 離旅行は思い出すと懐かしい だものである。 みんなで分け合ったり、読み なれる。目的地に到着するま り合わせると、すぐに親しく 見知らぬ人同士でも火車に乗 ものがある。不思議なことに、 での間に、相手の家族や仕事 ことに由来する。火車での長距

くれた。私も時には用もない くて、『秋黴雨』と言うべきだ 番大きい傘を抜いて、急いで と、大陸のスケールの大きい 日本の秋雨は『秋霖』ではな 「秋霖前線」という言葉が耳に 見ていると、アナウンサーの だろうと思いながらテレビを 駅に向かった。いつも乗る電 ながら、玄関の傘差しから 秋霖を経験した私はそう思い 入った。「この表現はおかしい しとと降り続き、今日も降る とである。連日、秋雨がしと 事があった。ある年の秋のこ だけ電車内で印象に残る出来 火車の旅の光景は、日本では見 方、中国で体験したような

符を買って反対方向

もちろん規則違反をしていな

京近郊区間内の路線

し心臓の鼓動は激しくなる。

発駅から東

特例である。これに

制帽を目深にかぶった車掌が

と、突然そこに敵が現れた。

春ならぬ

「秋霖」のことに気をとられて、 をやったわたしは、目を見張っ ります。今から七、八年前の た。「共立」と答えると「そ 卒業したの?」と聞かれまし 生の男の子から「どこの学校、 こと。作文を教えていた小学 立」と言って通じないことは ありませんでした。東京から 当時東京とその近辺で「共

とをしてしまった自分に苦笑 | はないか。 しまった、と思った。 | ふいに、 「今日は雨になります た。先ほどまで曇っていた空|が空いたので、腰を下ろして も、傘を持っているのは私だ ならありがたいはずの大きい 肝心の雨が降るかどうかを聞 びっくりして条件反射的に隣 傘が、いまは厄介な存在になっ てしまった。車内を見渡して

学時代に二年間も中国語を 勉強したけれども、 教師だと知ると、彼女は「大 なってきた。私が中国語の 交わすうちに、彼女と知り 合いになったような気分に

**子駅で降り、楽しいおしゃ** してくれた。 りの余韻を心に残しなが 私は彼女と別れて西八王

春は昔の

鋭さでした。「女子大のこと の質問とは思えない切れ味の 返ってきました。小学四年生

難しさ等々、学生の苦悩を身

卒、本林先生のクラスでした。 昭和四十一年文芸・国文 とになるのです。 この男の子の言葉が大きな意 味を持っていたことを知るこ 知ってる?」当たり前です ていきました。しかしその後 相手に! と自己嫌悪に陥っ た。「知らない!」だよねえ~ た学校は神田(昔)の学士会 い放ったのです。「先生の出 率直な男の子を相手にこう言 東大に行くの」とだめ押しを 返しましたが、内心穏やかで よく知らないでしょ」と切り 館の前にあるの! 学士会館 はありません。続けて「僕は してきました。 大人げない私はこの天然で んと馬鹿なことを! 即、返事が返ってきまし

\*\*\*\*\*\* |お国はどちらですか」と聞か |ると思ってしまって…| とば ら、日本人じゃないんですね。 優しそうな女性の顔があった。 を振り向くと、四十代くらいの ほっとひと息ついたが、その時 れた。日本に来て十何年も経一 いえ…でも、てっきり雨が降 二駅ほど過ぎ、目の前の席 れから友人と合流して高尾山 なっちゃったのよ。実は、こ

いですね、今日は土曜日だか に登る予定なの」と言う。「い ら、私もどこかへ遊びに行 きたいです」などと言葉を

覚えてないわ」と笑顔で話 你好(こんにちは)」しか

と尋ねてみた。彼女はにっこ り笑い、「あなたが大きな傘を らない人にはあまり声をかけ 持っているのを見て、心配に ないものだと思っていました」 もしれませんが、日本人は知 「中国人です。ところで失礼か れたのは初めてのことである。 つが、電車の中で声をかけら 歳、十九歳の女の子を目の前 る。授業が始まる前のいつも ら、教室へ向かった。学生た 日中比較文学・文化) な気持ちになった。 出来事を思い出し、ふと複雑 の光景である。無邪気な十八 ちは楽しい にしながら、今朝の電車での (そう げんしゅん 教授・ てうに雑談をしてい -

研究紹介

鄃

<u></u> 年三月 化研究 ムチ」 較文化史)」『アジア民族文 治療をめぐる東アジアの比 ポジウム 病と祓い:病気 書評 の実際と考察(シン 居駒永幸著『歌の原 の病祓い儀式「ニャ 十四号、二〇一五

神話 『日本文学』六四巻 10|五年三月

間における日本女性

立大の場合 する」というニュースが入っ 養成と哲学 たのです 科学系の党 口は古い体質を廃し ず部を廃止又は縮小 r、文学等人文社会 国際競争力をつけ 原因は少子化。国 吾が身一つはもとの身にして 月やあらぬ春は昔の春ならぬ 型の恋歌が千年余も語り継 こんなに雅びで切ない短詩

しす。「そんな学校 **怪五十年近く経った** 入系は最も大きな荒 ロった男の子の言 聞いたことない」と 党校を取り巻く現実 っです。これが卒業 似に曝されてきたは 9。中でも女子大・ に立たされていま Jこも大きな岐路 るためとか。大学は 芸術は伊勢物語の上演等々! を、文芸メデイアは広報を、 がれている国がどれ程あるで 造形芸術は関連グッズを、劇 挙げて世界へアピールするな 誕千二百年を迎えます。文芸 歌、恋ならずとも身につまさ んてできないでしょうか? れます。十年後には業平の生

ょうか? それにこのお

英文は英語で、仏文は仏語

日文は翻訳のための原文

歌にこんなのがあります。 まま何もせずにいて良いので てみたいた しょうか。 良く知られている業平の和 身に沁みます。この のです。 せめて何か抵抗し 四十一年度 文芸学部 国文

(さとう かずよ 昭和

言葉の力を取り戻す為に!

した。そして終にこの原稿を ないなどという話も耳にしま

又、他の大学では仏文科が廃 近に聞くようになりました。

夢見ているのですが…。

そんな一大イベントの開催を

書いている最中「国立大教員

科卒業)

福嶋 伸洋 FRANCO-NIPPONNE 別巻) 像一紋切り型からキク・ヤ ゆまに書房、二〇一五年三月 間の日仏文化交流』(REVUE マタの女王の国へ」『両大戦

十一号、二〇一五年六月 ボルへス会会報『迷宮』第 「鏡 espejo と反映 reflejo」

訳、四明書院、二〇一五年一 のためのマニフェスト』翻 への呼びかけ―地球と人間 ピエール・ラビ『良心的抵抗

| 村井 華代 (二〇一二) を中心に」『共立 チ:『シルワンの孔雀』 号、二〇一五年二月 女子大学・共立女子短期大学 対立への演劇的アプロー 「イスラエル/パレスチナ 総合文化研究所紀要』二一

宮古島狩俣の神歌と 『九相図をよむ 朽ちてゆく 死体の美術史』KADOKAWA ,角川学芸出版、二〇一五

山本 聡美

ス語で書かれた『東方見聞録』

アスな存在になった。

日本は、外から見るとミステリ 形成された。鎖国で閉ざされた ヨーロッパにおける日本観が 十七世紀から十九世紀までの は有徳であることが伝えられ、

ションが膨らんでいき、日本は

接交渉がなかったため、西洋で

い国であった。十九世紀まで直

長年、西洋にとって日本は遠

ンに送った書簡から、日本人

レオタイプとなる。日本に滞在

混同されて、日本人女性のステ ない。これが「ゲイシャ」とも く「ムスメ」はハラキリも辞さ|

すれば、ゲイシャのもてなしを

キク・ヤマタ

田口

亜紀

する唯一の情報源だったが、そ

る例だろう。十六世紀には来日

に乗り出したことは、その最た

したイエズス会士がヴァチカー

年、プッチーニがこれを「ムス

る。

一八九七年に日本人の父と

ロチによる日本滞在記だが、後 『お菊さん』はフランスの作家

女性がいた。キク・ヤマタであ を定着させようとした日本人 探し求めて、コロンブスが航海

るのが「ムスメ」の話である。

く残した。そこでよく語られ

し、日本滞在記、旅行記を数多

者の生涯』のような著作を残し

の嗜好に沿ったかたちで、『芸

二十世紀に、フランスの読者

発着を繰り返す(写真)。駅の

本の線路で結ばれる。これは が帝都・東京を中心とする一 各社)によって日本全国

見方を変えれば、天皇や皇太

駅や池袋駅のほうが大きいは

本全国を「行幸」できるよう

いずれもだだっ広く

維然としており、阪急梅田駅

中央の権力は鉄道(というメ

になったことを意味している。

面行、宝塚方面行、

ターミナルから見る 鉄道文化にしひがし

な雰囲気を東京で味わわせて

透し、国内を均質化していく

もっとも阪急梅田駅に対す

関西私鉄の大半は裏ワザ的な

一般の鉄道とは違う

しかし阪急をはじめとする

いっぽう、関東の私鉄で阪

内すらしないという。阪急は、

ニュースとして、日本を代表

そう言えば、つい最近の

『蝶々夫人』を作曲した。タイ メ」の悲話に仕立てて、オペラ

八の現地妻として売られてい

た。その後AP東京支局での勤務

聖心女子学院で教育を受け

本女性の表象についての原稿

キクを取り上

に引き裂かれた一人の女性が とフランスを愛し、二つの祖国 たメモ、そして日記から、日本

を経て、二十六歳でフランスに

げようと思って、彼女の草稿が

らず大阪駅を名乗らず、車内

である。

の一中間駅化してしまったの

い、横浜と埼玉とを結ぶ線上

鉄副都心線相互乗り入れに伴 ナルですら、昨年三月の地下 の不完全な「間借り」ターミ

アナウンスでも乗り換えの案

研究ノ 日本とフランスを結びつけた

### 阪急梅田駅 (大阪市)

#### り巡らされる ディア)は首都 鉄道(というメ り、全国に張 と地方との間の

役割を果たすのがターミナル

独自の沿線文化を開花させる

めの下地がない。東急は、そ

した「自前」の文化を築くた

めったかは、例えば須賀敦子

保廣

この感慨がどのようなもので シト急行に乗った者がいる。 選にいた人の中に、このオリ 日本人でも、比較的恵まれた

本の場合で言え を首都に向けて 時間と空間を抹

> 言えば反グローバル?)の「哲 こうした「反中央」(今ふうに たのである。阪急梅田駅には、 の高級住宅街といった「自前」 あくまでもそこから「独立」 大阪駅と「繋ぐ」のではなく、 東京と一本の線路で結ばれた して、宝塚の少女歌劇や芦屋 | を開通させてしまうのが関東 する二大ターミナル駅を中間 授·日本近代文学) の鉄道文化である。あくまで 向があるのかもしれない。 関西とは異なり、関東には、「繋 駅化した「上野東京ライン」

> > な客室や、走るレストランと う。一流の備品が揃った優美

おかげで、日本でも名前を聞

殺人事件』や、その映画版の

いたカップを 娘が枕元に置

一死にの

車が、父には忘れられない。」| の存在を知ったのだが、当時

いたことのある人が多いだろ

クリスティの『オリエント急行

浦野 郁

> や富豪の秘書、そして探偵ポ あるのに対し、貴族の使用人

、口は「相部屋」を使ってい 当時のオリエント急行は

も、個室を占拠しているのは

のひとつに阪急梅田駅(大阪

都」東京

思想としての関西

された十本のホームに京都方

よって触発された部分が大き

も国鉄とは違う国際標準軌を

借り」するようにあり、線路

渋谷駅はJR山手線の駅を一間 れば、東横線のターミナル・ 急東横線だろうが、原氏によ な沿線イメージから言って東 急に比肩されるのはその高級

採用できた(関西私鉄には御

力による規制を逃れ、線路幅 設された。そのため中央の権

とが、国鉄の鉄道網によって

運ばれる中央の文化からは相

力の中心から相対的に「独立」 阪急とは違って、そこには権 国鉄とは異なる線路幅を持つ 自のターミナル駅を建設し、 幅も山手線と同じである。独

召列車が直接乗り入れられな

い!)。原氏によれば、このこ

近代に入

私鉄』(講談社選書メチエ)に

がある。整然とくし形に配

技術の進歩と富とを象徴する、

オリエント急行 が運ぶ夢

タンブール)間で運行が開始 された豪華寝台列車。アガサ・ 記憶に新しいが、こうした豪華 の登場が話題を呼んだことは ても「オリエント急行」である。 ンティノープル(現在のイス 昨年、「ななつ星・日九州」 父親から頼みごとが伝えられ 長年イタリアで暮らす須賀の のエッセイ「オリエント・ の外遊で乗った、オリエント もとに、死の床に就いている クスプレス」が伝えてくれる。 急行の模型と車内で使われて いたコーヒーカップがほし \*

んでいたリヨンから、東京に移 たキクは、十一歳になるまで住 フランス人の母の間に生まれ から受けた仕打ちは想像に難 一昨年、フランスにおける日

た所蔵品にふれていたら、

未完

の自伝、留置所での体験を記し

た。パリではキクは常に和装姿 化大使だった。日本では女性が 交流の場で通訳を務め、日本に で現れ、生け花を披露し、文化 渡り、文壇デビューを果たし 関する文章を発表した、真の文 婚し、ジュネーブ近郊に住んで 人画家コンラッド・メイリと結 草稿があるかというと、スイス 収蔵されているジュネーブ州 立図書館に調査旅行に出かけ た。なぜジュネーブの図書館に

語っていたのだ。

いたり…肉筆はそれ自体で物

※本誌二面「研究紹介」欄の拙稿参照

(たぐち あき

ことだったろうか。長い付

勤めたころは、入試の弁当を

受けられる、という幻想を西洋

西洋人(男性)にとって「憧れ」 人が抱いていたならば、日本は

クが滞在していた日本で憲兵 はずはない。太平洋戦争下、キ 国がそのような考えを見逃す 性は日本文化の形成と伝統の スに整理され 文書、書簡類 志で、原稿、 許可を得て からだ。特別 の一切がここ 十八個のケー に寄託された いたキクの遺 ランス文学

「キク・ヤマタと夫コンラッド・ メイリ」(キクが切り抜いて持っ ていた新聞記事より)

内田

あれも食えないこれも

消えている。柏水堂が無く 神保町から古い店が段々に

> が無くなってい 近は特に古い店

、これでオリ

なで食べたのは二月の入試の ケーキを買って研究室でみん 子にはよく合った。ふとした なったのは今年の話だ。あの 昔風だったが、あそこの洋菓 色を遺していた。コーヒーも 包装紙と奥の喫茶室は昭和の 気の迷いで、デコレーション ラライカが無く ロシア料理のバ のだろうと心配 なった。共立に 無くなった店で でもある。 は、早い時期に 大規模開発で

のは食べたことがあったのだ あの時が初めてだった。虫の 知らせというものだろうか 一軒知っていた。九段よりに デコレーションケーキは ケーキを売っている店を 大抵のも らった。『江戸たべもの歳時 の浜田義一郎先生に教えても 力を演奏していた。神保町に だった。店に行くとバラライ ア料理の出前は初めての経験 出前してもらっていた。ロシ はロシア料理店が多いと大妻

プを譲ってもらう。帰国した| 若い彼を運んでくれた青い列 ラノに停車中の列車に直接出 向き、車掌に事情を話してカッ

市のさざめきからさざめきへ、 な時間のなかを駆けぬけ、都

訪れた際、

現地で初めて展示一師・イギリス文学)

できる。

私は数年前に箱根を

メイムをすることが

のエスワイルだ。こちらは移 があった。真偽のほどは知ら 段温泉というお風呂屋さんと 関係のある店だと聞いたこと は亜砂呂という店があり、 ない。<br />
もう一軒は<br />
小川町より ノンが有名で、古書会館の帰 したと聞いている。モンブ

行った。靖国通りに面した店 は元々出入りが激しいが、最

だった。ある時、 れないのが残念 らビールを飲んで ことがある。朝か スを自分でつけら んと二人で行った 学部長室の助手さ

ンピックが近づ

いたらどうなる

位の子会社になって ら高名な編集者だっ その人の話を聞い た。<br />
そのおじいさん その出版社も今は て、翌日が閉店日

たようだ。

巨大新聞

しまって

一度入

てみようと思って

かも知れない。

う。それはまたそれで良いの

はどうや

だと知っ

(うちだ やすひろ 教授・

というものだった。須賀はミ 青の車体にこのロゴが目印

画期的なもので、乗車できた

堂車)など、この列車の設備は いうべき贅沢なサロンカー(食

のは一握りの人々だけだった。

峠を越え、ミ らシンプロン ことを考えて ぞんで、父は る、「死にの う内容だ。須 ラノ、ヴェネ いる。パリか まだあの旅の をこう推し量 賀は父の心情 いていくとい の意識は遠の 見つめ、父親

| リエント急行の車両が展示さ | られている。 事前予約はでき

リック美術館」には本物のオ

「乗客」は各回二十名までに限

のをご存知だろうか。「箱根ラ | 華列車の見学は一日数回だけ、

乗車できるようになっている

は近年私たちの身近なところ んだこのオリエント急行、実 や自由な冒険の象徴として思 | れなくても、趣あるソファに

い出されて

さて、かつて人々の夢を運

に思いを馳せるだけでも十分 腰かけ、遠い世界の旅人たち 急行は、若き日の豊かな時間

| まった。車窓の外の景色は流

すっかりムードに浸ってし

のままに保たれている空間で、

だろうか。

ここでオリエント てんでいるからこそ、

にやってきて、なんと誰でも

| ぶんおいしく感じられた)。た

出てきた紅茶とお菓子もずい 貴重な体験だった(おかげで、

だし、注意点がひとつ。この豪

と、内部(

の装飾品を説明付き

サロンカーで優雅

れて、ひと時のタイムスリップ い時間帯にラリック美術館を訪 ないので、体験したい人は早

への切符を手に入れて下さい。

(うらの かおる 専任講

れていて、

「切符」を購入する

、先輩に連れられてよく なった口 く御存知で 唐で、 広 カという店で、ここはランチ 在と関連は よく一緒に **凞写真の宮川さんと** いた。小さな地下の ンア料理店がカリン る。もう一軒、なく 7けておられたのを 屋さんだ。九段上になるので、 で、ニコライ堂の存という、大周楼というすき焼 然くなった 店に 羅生 になったものだ。 と機会を狙っていたが、これ 気を残しているにちがいない

人々も来るという特殊な雰囲 控え、当然ながら靖国参拝の ない。背後に九段の花柳界を 少し足を伸ばさなくてはなら

門というとんかつ屋がある。 残っていた。ソー 、戦後の雰囲気が

うパン屋さんも機会を逃した

も知らないうちに無くなって

いた。アムールエーパンとい

人いたっきりで、 じいさんの客が一 いたとおぼしきお はあるが、どうしても食べた ものがあったようだ。残念で にはここでお昼を買っていた た。ひじきパンとか不思議な 人も居たようで、無くなった 昔の共立高校卒業生たちの中 店だ。いわゆるパン屋さん 時に何人かからメールを貰っ 買って帰って食べるのだ。大 でレストランではないから、

う存在も世の中には多いだろ んこともなくふと消えてしま ら、こんな風にあれこれ思い 出すことも出来るのだが、そ いものではない。 食べ物関係の店は数多い一 なんとなく印象に残るか

日本文学)

う店もある

る。靖国神社が招魂 ついたら無い…とい

いた頃からあった

ノロフィー

ものきっかけですね」と意外

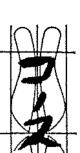
は中国研究会でした。友達が

盾するようですけれど、明日

読もうと本屋さんに語学の本

原文がギリシャ語で、原語で

を買いに行ったことがそもそ



# 〈フランス語フランス文学〉

の授業の役割は十分果たした 作品を見つけてほしいという 授業を担当し、中世から現代ま とつの作品でもいい、ほんとう ことである。ひとりの作家、ひ つけてくれれば、それだけで私 いるのは、好きな作家、好きな に好きな作家、好きな作品を見 好きな作品を見つける ス語を始めて三年ほどで、ど プルースト (とモーツァルト) わずかなりとも、黒字になる り続けた。死の間際に人生の を読むことは、私にとって、 ストの文章はかなりむずかし のお蔭にちがいない。 ことがあるとすれば、それは 収支決算をするとき、たとえ つねにこのうえない喜びであ かったが、それでも、フラン うにか読めるようになった。

#### 〈劇芸術〉

ことになると思っている。

ない学問」という論点があり

みたかったからである。プルー 以来四十数年、プルースト きたのは、本当に幸運だった と思います。 自分の気持ちを動機に行動で です。卒業後、今学んでいる にとっては、今が人生の岐路 いことを」と周囲には随分言 それが「役に立つ」からでは でした。「そんな役にも立たな なく、ただ学びたかったから 演劇学をやろうと決めたのは、 でいるでしょうか。 自分に問われたら、何と答えま るのでしょう。「なぜ劇芸術 ことはどう「役に立」ってい さて現在、大学生の皆さん ちなみに大学生だった私が

#### うと思ったのは、何よりも、マ ルセル・プルーストの小説『失 はいえ、ほとんど独学で)学ぼ 私がフランス語を本気で(と 「役に立つ学問」「役に立た

養研究室に着任された上野慎 昨年度より文芸学部文芸教 入るので一緒についてきて ほしいと言われ入ったんです が、やはり漢籍が読みたかっ

思って。みんな、共立の先生

とのこと。ギリシャ史を専攻 なっている。学生時代のご専 している間に読んでいた本の 思っていたんですけど。浪人 アの歴史書や漢籍を読もうと み重ねです。元々は中央アジ されたきっかけは「偶然の積 攻は西洋史、主にギリシャ史 語、ラテン語などをご担当に れ、現在、共立ではギリシャ 東京大学、同大学院と進ま たし」。学 日々の睡眠

うとすると寝られません」。 りないです。授業の支度をし うで「一日二十四時間では足 も二時間ほどの睡眠だったそ 時間が非常 に短く、本インタビュー前日

る先生は、 生時代は幅 努力家であ 話を伺っ れていたお 広く勉強さ かなりの

す。一応、販売できるスキー あとは写真を撮るのが趣味で ろ「勉強ですね。本を開ける なったようなものですから。 強です。まぁ、趣味が仕事に 息抜き方法をお聞きしたとこ ことが息抜きです。趣味も勉

んでいるでしょうか。それと に立たない」と思いながら学 | 卒業の日を迎えられますよう らの意志で歩く人間として、 人の基準に振り回されず、自

# 〈英語英米文学〉

リーディング・マラソンで

とは違い、自分のレベルに合 abridged) や、伝記、映画のノ 末に慌てて取り組む方もいる の成績に含まれるため、学期 ん読むことがコツです。演習 語が二、三個くらい)、どんど わせ(一ページに知らない単 現にこだわりながら読む精読 多読に取り組みます。語や表 もの (graded readers) を使い 語力に応じてレベル分けした ベライズ版など、語彙量や英 は、名作の短縮版 (retoldや

われた時を求めて』を原書で読一ます。それに対する私の見解一それこそ学問の基本です。他一むことをおすすめします。 と、迷いながら歩いて行く。 ジーがいるのが見えたことが ンパンジーが登ってるわと だ、これはって。あそこにチ 向かっていたところ体調を崩 おありとか。「ああもうだめ され、なんと台所にチンパン 自分にしか出せない答えへ とったメモを撮影して家に持 ペースで学期を通して取り組 ためには、一ヶ月に一、二冊の に身につけるウエストポー れているそうだ。カメラは常 す」。写真サイトにも掲載さ ムの中にも入っているんで ようですが、英語力アップの に入っているそうで、学校で

方はそうだと思いますよ。家 てると思 ンジー見 でチンパ ようだ。 を撮影したり、用途は様々な

います。 寝ないで る先生の そのよう るから」。 さってい 仕事な に話され と語学の授業は間違えちゃい ましたね。真面目で素直な人 かな学生が多い。コースに かった。文芸教養の学生は静 んですよというと、手を挙げ のではないかと怖い、と言っ よって印象が違いますね。あ 勤で来ていたときは文芸メ ディアの、積極的な学生が多 ていました。間違えても良い

出が求められます。「何を書い 読後、簡単なエッセイの提

#### (造形芸術)

## 自戒の念をこめて

の学生生活には色々な締め切

りがあります。うっかりする

卒業が認められています。三 だけでなく、作品提出による を進めているところでしょう。 年生は既にそれぞれの選択を 造形芸術コースでは、論文

ち帰ったり、日常の風景など

最後に共立生へのアドバイ 共立の印象を伺うと「非常

| 用能力を高めましょう。 (杉村) うインプットを、エッセイでア たらいいかわからない」と思っ 語順が身に付きます。多読とい 作文や会話で使う語彙や表現、 たら、要約やあらすじをまと ウトプットへとつなげ、英語運 た英語をたくさん読むことで、 しょう。自分のレベルにあっ いですね。英作文では、読ん 分の名場面を紹介するのもい ば、好きなキャラクターや自 めてみましょう。物語であれ だ英文からヒントをもらいま きな目的も同じです。 でほしいのですが、締め切り だけは気をつけて! どちらも思い切り取り組ん

切に使ってください

す。自分のためにも時間はしっ 分の時間を守ることにもなりま | 決められた時間を守ることが自 こともあるかもしれませんが、

ですから、やっぱりどこか高 多いので。それで初めて前向 学年の人は頑張ってほしいで ない。でも同時に学生なわけ すね。四年生になって初めて 就職活動が始まると思って低 大人の自覚が出るという人が 等学校の延長のような気分も

手になった市地英です。慣れ

思っています。

今年度より日文研究室の助

文学体験

(日本語日本文学)

スを頂くことができた。「矛 語、卒業論文ゼミナールをご。 IE、風土と文芸A、都市と さと思って気を抜いてくださり 味わってもらわないと息が詰 らいたいですね」。 い』というのと『明日がある いと思って努力してくださ まっちゃうので。『明日がな 最後だと思って本を読んでも で、この四年間でこれが人生 業したら本が読めなくなるの でいてほしいです。あとは卒 い』というのと両方の気持ち 文芸A、ラテン語、

> |四年生は大詰めを迎えている|と作中人物の覚悟に思いを馳 せたのを覚えています。

成させていきます。最終的に人 定し、資料を集め、書/描き ところがあるように思います。 うものに見えるかもしれませ 論文の執筆と制作は、全く違

#### 〈文芸教養〉

てきたものを完成した形にで きるよう、限りある時間を大 四年生に限らず、みなさん

完走、 日回峰行」と ブックマラソン (ことは無いか) 言われている お目出度

人生を豊かにしていきたいと 読書は自然と日常にとけこみ、 あったように思います。以来 マラソンを終えて図らずも表 さまざまな世界へと誘ってく れは幼稚園の小さな図書室に う。満願成就です。 からもより多くの書物に触れ、 彰されましたが、私の読書の 旅はまだまだ続きます。これ れています。この度、ブック 本との初めての出会い、そ (村上)

かり管理しましょう。

委員たちがどこに行くか計画 張っています。どうぞよろし を立てていますが、日本文学 行があります。現在、コース 生になる前の春休みに研究旅 な人に助けてもらいながら頑 ないことばかりですが、色ん にゆかりのある地を訪れるよ 私も在学中、研究旅行に参加 さて、日文コースには三年 |を持つことが出来ました。そ の中で私がお薦めするのは れることは少なかったのです 慢と偏見』です。外国文学に触 ジェーン・オースティンの『高 で今まで手にしなかった様々 ので、他の外国文学を読むきっ なジャンルの本に出会う機会 ブックマラソンの推薦図書

## 〈文芸メディア〉

事に加えて、実習生を積極的

## 未知と出会うこと

書館のご厚意によって図書館

に受け入れていこうという図

実習が成り立っているという

ている。そ

渡ったとき、轟音を立てて流れ 宇治。ところが宇治川の橋を こに浮舟が身を投げたんだ…」| 三月に共立女子大学を卒業し る川を見下ろして、思わず「こ

につながっていると実感でき なくても、文学と現実は確か ゆかりの文学作品に詳しく

る、それが研究旅行の力だと みなさんも、ぜひそんな文学

# ブックマラソン

その困難さから文芸教養

が大きいと思われます。 公共図書館での実習

(13L093)梶野 祥子) を伺うことは、その後の授業 にとっても、実習先を訪れ図 ることにつながります。教員 に役立つはずです。 書館側から率直な意見・感想 それが次代の図書館員を育て 教育的効果が期待できます。 ことで、図書館の仕事や実状 役に立つならばとの考えで、 書館員を目指す人達の勉強の について理解が深まるという 受入先の公共図書館は、

味があるのか疑っていました。 を訪問することにどれほど意

もない源氏物語ゆかりの京都 しかも訪問先は、読んだこと は作品の舞台になっている地

しました。正直に言うと、当時

(13L134 小菅

殆どの場合、無償で実習生を

受け入れています。 忙しい仕

い機会になるはずです。

研究室の助手となりました、 野際萌未と申します。今年の 今年度より、文芸メディア を活用してください。

このような気持ちになること ことができていいな」という て勤務しています。社会人に ことです。自分が学生の頃は、 なり、学生の皆さんを見てい て思うことは、「たくさん学ぶ など想像もしていませんでし |とへの期待と不安を抱く時期 ことも卒業論文には繋がって くのことが活かされます。授 には、学生 が卒業論文です。論文の執筆 大学生活の集大成となるもの でしょうか。卒業にあたって 業で学んど たことはもちろん、 一時代に吸収した多

体験をしに行って下さい。(市地)

た。しかし、社会人となった と、四年生は社会人になるこ|しいと思い 卒業に向けて学年が上がるこ 今、学生の時にもっとたくさ んのことを学び、吸収したかっ さて、コース生の皆さんは、 見つかる学生生活を送ってほ 白いと感じることがたくさん いくはずです。卒業に向けて、 自分が知る

#### 三年次 教職 は決断のとき

(司書課程)

ず教員にとっても得るところ が、外部の公共図書館での実 ました。これまでは本学の図 書館で実習を行ってきました 正により、図書館実習は原則 司書課程カリキュラムの改 履修する学生のみなら に歓迎されないところへ教員 習」のための受け入れ校を確 出身校へたってのお願いに出 保しなければならない。全体 とって、ニ ねてきた教職課程履修者に 年、二 一年次は決断のとき。

まず学生が現場を体験する それが理 習の内諾をとっておきながら、 の実習期間中に重要な面接で れが悩ましい。学生にとっては を認め、大学に提出する。こ も実習を果たす」旨の誓約書 内定をもらったら「何がなんで も入ったらどうしよう、と。実 ティングの問題である。三週間 向くのである。 一生の問題である就活とのバッ 学生は実習校から受入れの 田の実習取り止めは

の配属クラス、指導教諭の決 放棄を決断すること。実習生 害者は生徒たちなのだから。 前の取り止めによる一番の被 することなど許されない。直 定など、既に準備は万端整っ ちを取るか。迷わず教育実習 絶対に避けなければならない。 就職活動と教育実習、どっ てれを直前に反故に せてくれます)。

は二月十九日です。(中本) 文芸学研究科の入学試験

(下村)

## ~ひと言ふた言~

何を勉強しているの

友人との会話や趣味から得た | るの? 」とは、ほとんど聞か りなかったこと、面 かし、大学生になり「大学で れたことが無いですよね。し はないですか。 かれたことはすでにあるので 何を勉強しているの?」と聞 から「高校で何を勉強してい 皆さん高校生の頃、周囲の人

免許取得のためにと、久々の | E×B質量分析装置を・・・」 教職課程最大の課題「教育実 | 答が始まり、一年生の頃は少々 年と履修を積み重 | を勉強しているの?」と続き、 |と喜んで研究テーマについて がいいかな…)。ちなみに私は をしてみますね(特に一年生 年生にもなると、最初の問い 大概「・・・って何?」と禅問 で「実験系のプラズマ物理で、 語るようになっていました。 戸惑ったものです。これが四 適当な授業名などを答えると、 人)は、「ヘー、で、物理の何 いひと。(=興味を持っている を勉強しているの」と聞かれ す。しかし、一部の『しつこ ぐらいで、別の話題に移りま はその後「ヘー」という反応 所属学科名で返答していまし ると「物理です」と反射的に た。大方の″ふつうのひと″ こんど、皆さんにもこの質問 私が、大学に入った頃「何

## 大学院文芸学研究科情報

"しつこいひと"の部類です♡

ので、先生もあなたに合わ 個人指導に近い教育環境な れる職もある)、勉強につ 観に囚われることになる)、 (そんなことを言う人が気 い。高学歴になりすぎる? いて行けない?(ほとんど 就職が不利になる?(大学 院に進学したからこそ得ら になるなら、その人の価値 大学院へ進学するためら